

なかの 市議会だより

8月号

2025年(令和7年)
8月5日発行
No.81

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会

●ホームページ <https://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp

民設民営による 認定こども園が完成



▲平野さつきこども園

▼高丘さつきこども園



●市政一般質問	請願		意見書案	人事案	事件案	予算案	条例案			●議案等件数及び議決内容	会期	閉会	開会
	1件	2件					1件	3件	3件				
41件	採択	不採択	可決	選挙	可決	可決	否決	可決	承認		16日間	6月20日	6月5日

6月定例会



農業の振興と発展について

質問 令和7年5月21日の強風および降雹により農作物に多大な被害が発生し、6月12日にJAから要請書が市長および議長あてに提出されているが、支援の考えは。

答弁 現在、被害状況を調査中であり、早期の復旧のため関係機関と連携して対応していきたい。

質問 JAの系統組織以外に出荷している方への対応は。

答弁 被害を受けられた皆さんに支援を行っていくので、JA以外の方も農業振興課へ相談いただきたい。

質問 国・県との連携や支援要請は。

答弁 全体の被害状況を把握し、必要に応じて対応する。

質問 農業王国発展加速化事業補助金の利用状況は。

答弁 現在までに申請のあった47件に対し交付決定をしている。内容はブドウ、ナシ、花きの施設の新設や改修に係る生産資材費である。

質問 この施設も対象になるのか。

答弁 農産物の品目に関係なく生産の維持拡大につながる施設の整備に係る生産資材購入費の一部を補助するので、補助要綱に該当する場合に

は申請いただきたい。

質問 クマ、シカの侵入防止のために電気柵を強化すべきでは。

答弁 管理する地元区が既存の電気柵を防除性能の高い柵に強化または更新することは可能であり、広域電気柵の耐用年数8年を過ぎた場合には国、県の交付金等が活用できる。

消防団を取り巻く情勢について

質問 団員数の推移と充足率は。

答弁 条例定数970人に対し、機能別団員制度導入前の令和4年度の団員数は914人、充足率約94%であるが、導入後の令和6年度は995人、充足率約103%となっている。

質問 ポンプ操法大会の訓練や大会参加への負担軽減の対応は。

答弁 市の大会では、出場チームについて各分団から出場していたものを、各方面隊から1チームずつにするなど負担軽減を図っている。

質問 各種行事の簡素化の検討は。

答弁 各種式典や大会への参加団員を減らしているほか、時間短縮等により簡素化に努めている。

質問 消防団への入団特典として準中型運転免許の取得を支援しては。

答弁 令和6年4月1日現在、団員の免許取得に係る公費助成制度を、県内28市町村が導入している。今後、各種ポンプ自動車を運転できる団員の確保が難しくなる時期等を調査し、当該助成制度の導入を検討していく。



職員について

質問 大幅な職員減による職務への影響は。

答弁 これまでの業務を見直すとともに、組織の最適化を進めてきた結果として職員数が減となったものであり、職務への影響はないものと考えている。

質問 令和7年4月1日の職員充足率は。

答弁 職員定数条例568人に対して、令和7年4月1日の職員数は392人、充足率69%である。

質問 令和7年度採用試験の応募状況は。

答弁 昨年度と比較して減少している。なお、7月から大学卒業程度の社会福祉士および土木技師、高校卒業程度の一般事務および土木技師の応募受付を開始する。

市の財政について

質問 令和6年度の一般会計決算見通しは。

答弁 令和5年度と比較して、歳入は2億8千800万円余の減、歳出は6千600万円余の減と見込んでいる。

保育所について

質問 令和6年度のふるさと寄附金の歳入見通しは。

答弁 総額22億9千200万円余である。

質問 この度の雹害等によるふるさと寄附金への影響は。

答弁 現時点で影響は不透明である。

質問 松川保育園の令和7年度の入園者数と新規入園者数は。

答弁 入園者数は74人、新規入園者数は12人である。

質問 松川保育園の園舎の老朽化をどのように考えているのか。

答弁 築46年が経過しており、老朽化が著しいことから、統廃合を含めた検討が喫緊の課題となっている。

質問 平野・高丘さつきこども園の今年度の入園者数と旧保育園利用者を除く新規入園者数は。

答弁 平野さつきこども園は148人、うち旧保育園利用者を除く新規入園者数は51人、高丘さつきこども園は、入園者数は71人、うち旧保育園利用者を除く新規入園者数は28人である。

質問 配置基準に対して職員数を把握しているのか。

答弁 両園の保育利用申し込みは市で受け付けており、その際に職員数を把握したうえで利用調整を行っている。

その他の質問

・総合政策アドバイザーについて



松樹 純子

特定健診・こきいき健診等について

質問 受診者数の傾向は。

答弁 特定健診も後期高齢者健診も受診者数は年々増加傾向である。

質問 今年度、一部の会場を集約した理由は。

答弁 熱中症対策、駐車場不足による路上駐車の問題、会場ごとの受診者数の減少を勘案したものである。

質問 中野市は、きめ細かく健診会場を設けてやっていると評価されている。後退させないでほしい。

答弁 会場集約は、各区から伺ったご意見などを考慮し、区長会の理事会および総会で説明を行った上で、実施した。今後は、医師会との連携や、かかりつけ医からの診療情報提供により健診を受診したとみなされる制度の取り組みを進め、受診者の利便性や受診機会の増加を図って、受診率向上に努めていく。

特定事業主行動計画について

質問 今年度は、職員の「仕事と子育ての両立支援」や「女性活躍推進」のための中野市特定事業主行動計画の最終年度だが、目標達成状況はどうか。

うか。

答弁 令和6年度の育児休業取得率は、男性は目標10%に対して85・7%、女性は100%である。男性職員の配偶者出産休暇、育児参加のための休暇は、目標は未達成だが、年次有給休暇を活用して対応している者もいる。今年度、管理職的地位にある職員に占める女性の割合は、目標15%に対し、2・9%であり、係長相当職以上の女性職員の割合は、目標40%以上に対し31・8%である。

質問 女性が大事な部署で参画することの意味をどう考えているか。

答弁 多様な視点や意見を取り入れた組織運営が促進されるとともに、女性活躍の環境を整備することで、組織全体の働きやすさ等の向上につながると考えている。

業務委託について

質問 業務委託の学校司書には、学校側から直接指示を出しておらず、偽装請負にはならないというが、実際に、先生方の依頼や指示により、授業支援もやっていたというのではあるのか。現場の実態を確認して、直接雇用にすべきと思うがどうか。

答弁 ここで委託契約が終了するので、また考えていきたい。

その他の質問

・高等学校の部活動の体育施設使用について



松野 繁男

令和7年度事業について

質問 音声告知放送の代替となる情報配信システム「ライフビジョンサービス」は、個人所有のスマートフォンにアプリを入れ、情報の配信を受けるものであるが、スマートフォンを持たない高齢者や通信環境のない家庭への対応は。

答弁 スマートフォンを持たない方については「すぐメールプラス」を、防災行政無線が聞き取れないエリアの方については、「防災行政無線個別受信機」を利用いただきたい。広報なかのや公式ホームページで周知するほか、市主催のイベント等で利用促進を図って行く。

学校給食センター建設について

質問 現給食センターは2施設とも築20年未満であるが、施設の老朽化などを理由として建て替えとなる。新給食センター設計に当たり、現施設の問題点を検証し、新たな施設では、メンテナンスが容易にできるなど、長期にわたり使用できるよう考慮すべきではないか。

答弁 設計に当たっては、使い勝手

や、長期の使用を見据えたメンテナンス性など、十分な協議・検討を行い、事業を進めたい。

市管轄の公共物の維持管理について

質問 ガードレールや道路側溝、カーブミラーなどの点検や市道上にはみ出す支障木等の維持管理は、関係課で情報共有し対処すべきでは。

答弁 安心・安全な道路交通を確保し危険箇所に対して迅速な対応ができるよう、各区や担当課、関係機関との情報共有体制の構築を検討する。

ニホンカモシカの食害について

質問 山間地の果樹園ではニホンカモシカの食害が深刻である。対策は。

答弁 国の特別天然記念物であるため、捕獲以外の被害防除を優先する。広域または農地を個別に囲う電気柵の設置が、最善の方策と考えている。

ふるさと寄附金について

質問 ふるさと寄附金に対する返礼品は、その自治体で生産されたものに限定されているが、その確認方法は。

答弁 返礼品の申請時に返礼品業者への聞き取りを行い、確認している。

その他の質問
・令和7年5月21日の強風および降雹被害について



笠原 豊



加齢性難聴者への補聴器購入費用助成について

質問 耳の聞こえづらさを感じる高齢者に対する相談体制の充実は。

答弁 耳の聞こえづらさの検査は、国が示すチェックリスト票等を窓口

に設置したり、市で実施する講座やイベント等高齢者が大勢集まる場で配布するなど、気軽に検査ができるような取り組みを検討していく。

質問 購入費用への助成は。

答弁 現時点で助成は考えていない。

高齢者安心らびふエアコン補助金について

質問 事業概要と補助要件は。

答弁 高齢者の熱中症予防のため、住宅に家庭用エアコンを1台も設置していない高齢者世帯に対し、購入し設置する費用の一部を補助する。対象は、市内に住所があり、当年度分の市町村民税が非課税の70歳以上の単身世帯または70歳以上の方のみで構成する世帯である。補助額は対象経費の2分の1以内で、市内に本社のある業者が請け負う場合は7万円、市外業者の場合は5万円である。

避難所の環境改善について

質問 トイレ、入浴施設の整備状況と避難所の一人当たりの基準面積は。

答弁 避難者52人に対し災害トイレ1基の状況だが、追加整備する。入浴施設は、水循環シャワーユニット1基を今年度中に購入する。避難所の一人当たりの基準面積は3㎡で、市内26カ所の指定一般避難所に合計8千664名の収容を想定している。

地域公共交通について

質問 ふれAータクシーの電話予約についての要望があるが、対応は。

答弁 電話予約による弊害もあり、4月からアプリ予約のみに変更し、実証運行を行っている。

質問 運行時間帯を分けて路線バスと、ふれAータクシーの併用運行は。

答弁 乗降者数の多い朝と夕方の時間帯のみ、路線バスを運行し、日中は、ふれAータクシーを運行する方法も過去に検討したが、現時点では難しい。

奨学金返還支援事業補助金について

質問 事業概要等は。

答弁 市内に就職し、自ら奨学金の返還を行う場合に、ひと月の返還額に対し、1万円を上限に返還支援を行うもの。対象期間は最大60か月で、補助率は2分の1以内である。



阿部 光則



熊による被害の状況と対策について

質問 クマの目撃や痕跡情報の注意喚起が行われているが、それぞれの実態はどうか。

答弁 4月以降、市内各所の山際等で出没が確認されている。市民からの目撃情報を受け、防災行政無線、

中野市すぐメールのほか、公式ホームページのクマ出没マップに掲載するなど周知、注意喚起をしている。

質問 実効性ある忌避対策はどうか。

答弁 市猟友会の協力を得て、侵入経路や食の傾向など出没の予想分析を行っている。クマを人里に寄せつけないために、防除性能の高い電気柵や緩衝帯整備などが必要である。

野良猫への対応について

質問 野良猫に対する苦情や相談と、その対応は。

答弁 苦情や相談の状況は、件数としては多くはないが、ふん尿被害に関する相談などが寄せられている。近隣住民による餌やりなどに起因する場合、北信保健福祉事務所と連携し、原因者に指導を行っている。

質問 旺盛な猫の繁殖力が、野良

猫を生んでいる原因とされ、増加防止には避妊と去勢手術が有効とされるがどうか。

答弁 対策の一つとして有効であると考えている。

質問 野良猫の避妊および去勢手術への助成はどうか。

答弁 長野県動物愛護会北信濃支部で避妊および去勢手術の助成制度を設けているので、市による新たな支援は考えていない。助成制度の周知や野良猫への正しい関わり方や飼い方について周知に努めていく。

学校給食センターについて

質問 建設後20年弱と比較的新しい施設を解体して新設統合するということ、多様な意見があるのは当然である。建設の保留を求める請願署名が進められ今議会に提出されている。どう受け止めているか。主権者は市民であり、意見をしっかりと聞き丁寧な説明をすべきと思うがどうか。

答弁 2施設とも厨房機器等の更新が必要で、安全な給食を安定的に供給することができなくなる恐れがあるので、早期に新設統合することが必要である。市民の間にある事業への異論には個々に対応している。

その他の質問

・令和7年5月21日の強風および降雹による農業被害について



高木 尚史

随意契約ガイドラインについて

質問 令和7年4月1日から地方自治法施行令の一部改正で少額随意契約の基準額が引き上げられたが、その対応と引き上げによる影響は。

答弁 事業者、市にもメリットがあり10月をめどに改正の予定である。

質問 ガイドラインでは、障がい者就労施設からの物品購入や緊急の必要により競争入札ができないとき、競争入札に付し落札者がいないときなどは随意契約を認め、一部特命随意契約を公表するとしているが最終決定方法はどうか。

答弁 中野市事務処理規則に基づき、予定価格に応じて決定している。

質問 随意契約、特命随意契約によって業者が限定、固定化されるが、心配はないか。

答弁 一定額以上の随意契約については中野市建設工事等業者選定委員会で厳格にチェックしている。

第3期保育所整備計画について

質問 第2期計画では保育園の統廃合や民設民営の方向で取り組んできた。この総括が必要ではないか。

答弁 公・民の比率がおおむね50%に近づいてきた。松川保育園は、全体の出生率、また中野地域の保育需要などを見ながら検討していく。

質問 計画の素案が策定される前に保護者や市民の皆さんの意見要望を聞く機会を設けるべきではないか。

答弁 整備計画案を提示し、保護者アンケートや座談会、パブリックコメントなどでご意見をお聞きする。

高梨館跡公園について

質問 国指定史跡の歴史的位置づけと市の利活用、保存状態はどうか。

答弁 都市公園として整備を進めてきた。石積みの崩落や説明板の劣化が進み、今後、文化財保存活用計画の策定を検討していく。

質問 倒木や樹木の枝の散乱など見受けられるが、指定管理者制度から維持管理業務委託への管理実態の変化はどうか。

答弁 除草や芝刈り作業、トイレの清掃など受託者と打ち合わせを行う適切な維持管理に努めている。

質問 子ども、お年寄りを含め、集える場として高梨館の活用はどうか。

答弁 原則は解体方針だが、建物の活用を検討したい。

その他の質問

少額工事等入札参加資格について



渡辺 菊男

中野市総合計画と「地方創生2・0」への取り組みについて

質問 第2次中野市総合計画について、10年間の成果、課題そして後期基本計画の進捗状況は。

答弁 小中学校の給食費無償化など子育て支援施策の充実、また信州中野アーチェリーセンターや関係人口創出拠点施設ZENYAの整備などで交流・関係人口の増加を図ってきた。主な課題は、人口減少および少子高齢化による地域の担い手不足や雇用の確保等である。後期基本計画は、毎年度、評価・検証を行っており、順調に推移している。

質問 地方創生2・0への基本的ビジョンは何か。

答弁 後期基本計画の重点テーマ「協・働・響・命を創造するまちづくり」を基に市政を進めていく。

質問 第3次中野市総合計画について、地方創生2・0等との関係は。

答弁 国等の動向を注視しつつ、第2次総合計画の検証と市民の意見を聞きながら策定作業を進めている。

美術館建設について

質問 美術館の使命や具体的運営方針、市民への説明方法はどうか。

答弁 市にゆかりのある作家の作品や音楽、スポーツ等の分野で活躍する本市出身の著名人に関する資料を展示・紹介し、本市の魅力を発信する。また、来館者のくつろぎの場や交流の場の提供も考えている。市民へは、適地選定後、基本計画案を策定し、広く周知したい。

質問 事業計画と財政計画はどうか。

答弁 今年度に基本計画の策定と基本設計・実施設計を行い、来年度に工事着手し、同年度内のしゅん工を予定している。財政計画は、類似施設を参考に、長期的な財政負担について事業費を試算していきたい。

中野土人形の持続可能な継承について

質問 後継者の育成や技術保存の施策はどうなっているか。

答弁 現在、具体的施策はないが、今後、制作者と意見交換を重ね、継承の在り方を研究していく。

質問 制作普及のための環境整備は。また、販路拡大への支援はあるか。

答弁 今後の需要と活用の見通しや実行性を踏まえて、適切な支援を研究していく。販路については、さらに実現可能な支援策を研究していく。

質問 将来の観光施策への展開は。

答弁 体験型観光素材として、制作者や関係者と連携して検討を進める。



塚田 一夫



選挙の投票時間について

質問 市選挙管理委員会の判断により、選挙当日の投票所閉鎖時刻の繰り上げは可能だが、現在の状況は。

答弁 過去の選挙において、投票終了後の投票箱の運搬や有権者数などを考慮し、4カ所の投票所で閉鎖時刻を繰り上げたことはあるが、投票所の集約化を行った現在、全ての投票所で規定通り午後8時としている。

質問 昨年実施された衆議院議員選挙と中野市長選挙では、午後7時以降の投票率はそれぞれ1・3%、2・2%と非常に低く、衆議院議員選挙では、全国の投票所の約39%が閉鎖時刻の繰り上げを実施している。投票日の投票立会人の負担軽減や経費節減などを考えると、本市でも閉鎖時刻の繰り上げの検討はどうか。

答弁 本市の投票率の低さを考えると、現在は投票の機会を少しでも増やし、投票を促す方向で進めていきたいと考えている。

ふるさと寄附金の返礼品について

質問 近隣自治体で発覚した、ふるさと寄附金における返礼品の産

地偽装問題による、本市への影響は。

答弁 産地偽装と本市の関わりについて数件の問い合わせはあったが、関わりがないことを説明し、納得していただいた。寄附実績は、昨年同時期と比べ約2倍となっているが、産地偽装による影響かは不明である。

質問 返礼品の産地表示についての調査確認と、今後の適正な管理についてはどういうふうに行っていく考えか。

答弁 問題の発覚後に、返礼品協力事業者に通文を送付し、産地表示について注意を促した。今後は返礼品の内容に関する定期的な聞き取り調査を行い、適正な管理に努める。

質問 ふるさと寄附金に関わる担当職員は1人とのことだが、十分な管理体制を整えるためには、人員配置等も検討するべきと考えるが。

答弁 現在は1人で対応できていることから、不足していることはない。

防犯カメラの設置について

質問 新規設置時の費用に対し、市からの助成の考えはないか。また、必要性に關しての認識はどうか。

答弁 必要性は考えているが、区等の団体が新規に設置する場合、県警察本部が実施する長野県警察街頭防犯カメラ設置促進事業により助成が受けられることから、市の助成は考えていない。引き続き、防犯灯の設置補助や、防犯指導員による見回り等の防犯活動への支援を行っていく。



木村 芳隆



踏切等の安全対策について

質問 遮断機や警報機がない第4種踏切の現状と今後の対応は。

答弁 JR飯山線は3カ所、長野電鉄長野線は13カ所、合わせて16カ所存在。今後の対応については、市としても課題を整理するとともに、鉄道事業者や関係区等から、廃止や警報機と遮断機がある第1種踏切への転換等具体的な要望があれば、関係者と協議し、対応策を検討していく。

質問 踏切として認められていない「勝手踏切」の実態と今後の対応は。

答弁 市では実態を把握していないが、全国でも事故が多く危険度も高いことから、注意喚起を行っていくとともに、鉄道事業者や関係区等から相談があれば対応を検討していく。

学校給食センター新設統合について

質問 現施設の現状と課題は。

答弁 経年劣化による床の剥がれやひび割れ、天井や壁に汚れやカビが発生し、保健所から指導を受ける等、調理場内の衛生環境が悪化。厨房機器も耐久年数の超過から頻繁に不具合が発生する等調理業務に支障をきたしている。課題は、調理場の環境悪化で衛生管理のリスクの高まりや部品が製造されていない厨房機器等があり、一定期間調理を停止せざるを得なくなることも想定され、早急に施設や設備を改修する必要がある。

質問 施設を改修した場合の経費は。

答弁 2施設分の改修費、厨房機器等の更新費用のほか、今後15年程度で新たなセンターの建設時期を迎えることや、引き続き維持管理費がかかる、新設統合した場合と比べ、毎年多額のランニングコストがかかる。

質問 施設を改修とした場合の調理業務への影響は。

答弁 2施設の改修が大規模となり工事期間も長期にわたるため、センターを休止しなければならず、その間の代替給食を確保する必要があることが懸念される。

質問 新設統合のメリットは。

答弁 現施設を稼働させながら整備可能で、給食提供を停止する必要がない。給食数に合わせた適切な調理員を確保しやすくなり、安定的な給食提供が可能。また、施設維持や事務処理等の効率化、委託費や光熱費等のランニングコストが削減できる。炊飯設備も設置可能で、衛生管理基準で推奨されている喫食時間の短縮や衛生管理の一元化により安心・安全な給食を安定して提供できる。

その他の質問

・ 高校の市公共施設利用について



芋川 吉孝



千曲川・篠井川および都市型水害の治水等について

質問 新潟県の大河津分水路工事が完成後の上流への影響はどうか。

答弁 上流の水位低減が図られ、信濃川水系全体の洪水調整機能が向上し、治水上大きな効果が発揮される。

質問 犀川のダムとの情報連携は。

答弁 国、ダム管理者、利水関係者で信濃川水系治水協定に基づき、大雨時には事前放流を実施している。

千曲川・犀川流域緊急対応タイムラインで情報共有が図られている。

質問 篠井川周辺の課題である千曲川本流水位上昇時の内水ポンプの停止基準はどうか。

答弁 篠井川樋門の千曲川側の水位が9・01mを超え、さらに増水が予想される場合に停止する。

質問 排水機場のポンプの増設は。

答弁 排水能力毎秒10m³のポンプ1基の増設を国へ要望している。

質問 農業用排水路および中野浄化センターからの放流はどうか。

答弁 市内一円に設置の農業用水路からの排水、篠井川流域内で掘削された地下ボーリング等で汲み上げた排水も篠井川に流入後、千曲川へ流入している。中野浄化管理センターは昨年度1日平均約7千900m³を放流。

質問 市で許可する深さ15m以上の地下水ボーリング施設の数はいくつあるのか。

答弁 約500カ所許可している。

質問 都市型水害対策で栗林清水川樋門への大型ポンプ設置はどうか。

答弁 内水被害は承知済。区からも要望があり、今後、調査研究を行う。

他自治体との交流と鳥取市について

質問 災害時等における相互応援協定を結んでいる自治体数と内容は。

答弁 5つの自治体があり、要請があった場合に相互支援を行うため、応援内容や経費負担等を定めている。

質問 高野辰之博士作詞のふるさとや春の小川、もみじ、おぼろ月夜等の作曲は、岡野貞一。また、高丘小学校の校歌は、赤岩出身の湯本武比古作詞で、作曲は、花咲翁や一寸法師の作曲で知られる田村虎蔵。ともに鳥取市出身である。本市と縁の深い鳥取市と都市間交流を行う考えは。

答弁 現時点ではないが今後、鳥取市とも情報交換する中で検討したい。

市の文化財および美術品等の収蔵品について

質問 収蔵美術品の主な作者と数は。

答弁 絵画では菊池契月27点、町田曲江11点、三沢忠氏13点、彫刻では菊池一雄36点、寺瀬黙山7点である。

議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。

インターネット録画中継は、パソコンのほかタブレットやスマートフォンでいつでも本会議の様態を視聴することができます。

是非、ご覧ください。



視聴方法

中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス

中野市議会ホームページ

<https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/>

各議員の顔写真の下に二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取るとその議員の一般質問の動画を視聴することができます。

(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。)



中野市議会HP

総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された専決処分の報告3件、条例案2件、予算案2件、事件案3件、請願3件について、6月5日および17日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市外部監査契約に基づく監査に関する条例案について、一部委員から修正案の提出があり、原案および修正案について審査しました。採決の結果、修正案および原案ともに賛成少数で否決と決しました。

請願では、給食センターの新設統合計画の保留を求める請願について、今後のランニングコスト等を考えると、3月市議会定例会で議決したとおり進めていくべきとの反対意見、新たに建設するより安価に修理修繕が可能だと考えられ、事業を一旦保留するべきとの賛成意見があり、採決の結果、賛成少数で不採択と決しました。同一趣旨の中野市学校給食センターの新設統合に関する予算執行停止についての請願は、一事不再議の原則から、みなし不採択と決しました。

そのほか、専決処分の報告3件、条例案1件、予算案2件、事件案3件、請願1件につきましては、原案どおり可決および承認されました。

民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案1件、予算案1件、事件案1件について、6月17日に審査しました。

条例案では、中野市体育施設条例の一部を改正する条例案について、令和8年3月31日をもって豊田マレットゴルフ場と永田社会体育運動場を廃止するため、所要の改正をするものであり、原案どおり可決されました。

予算案では、令和7年度中野市一般会計補正予算（第1号）について、総務費（関係部分）では、公会堂建設事業補助金2千96万1千円の増額や市営野球場電光掲示板化・音響設備更新工事費2億775万7千円などの増額、民生費では、生活保護システム改修業務委託料162万8千円の増額などであり、原案どおり可決されました。

事件案では、中野市多目的サッカー場人工芝張替工事請負契約の締結について、平成24年設置の既存人工芝劣化に伴い張替工事を実施するものであり、人工芝の張り替えにより利用環境が向上し、選手のパフォーマンス向上や、けがのリスクが軽減される。市民のスポーツ活動が活発になることを期待するとの賛成意見があり、採決の結果、全会一致で原案どおり可決されました。

経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された条例案1件、予算案3件、事件案3件について、6月5日および17日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市豊田温泉公園条例の一部を改正する条例案について、施設の管理を行う指定管理者の経営安定化を図ることを目的に、令和7年10月1日から、浴場の利用料金を大人、小人それぞれ100円の値上げするものであり、原案どおり可決されました。

予算案では、令和7年度一般会計補正予算（第1号）について、農林水産業費では、県の地域発元気づくり支援金を活用し、水路補修や農道舗装のための原材料費などで1千218万5千円の増額をするものであり、原案どおり可決されました。また、令和7年度水道事業会計補正予算（第1号）について、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、水道料金の基本料金2カ月分を無償化するための補正であり、原案どおり可決されました。

そのほか、予算案1件、事件案3件につきましては、いずれも原案どおり可決されました。

一時不再議とは

議会が一度議決した案件と同一内容の案件については、同じ会期中審議しないことをいいます。

これは、同一会期で議会の意思は一つしかないこと、すでに決定した問題と同一問題の再審議を認めると際限がなくなるからです。議会の意思決定を安定させ、混乱を防ぐためのルールです。

みなし採択（不採択）とは

同一会期中に、すでに同一趣旨の議案または請願が議決されている場合の請願について、議決することなく、すでになされた同一趣旨（目的）の議案または請願の議決結果により、採択（不採択）したものとみなして処理をすることです。



中野市外部監査契約に基づく 監査に関する条例案は否決

市民から市長に対し、「外部監査契約に基づく監査を実施するための条例の制定」を求める直接請求がありました。その後、市長から議会に対し、条例制定の議案が、意見を付けて提出されたため、6月定例会で議案の審査を行いました。

■**条例制定・改廃の直接請求とは**
地方自治法の規定に基づき、住民が有権者の50分の1の署名をもって、条例の制定または改廃を市長に請求できる制度です。

■**条例案の内容等**
地方自治法に規定されている外部監査契約に基づく監査を導入する内

容で、市長の意見を付けたうえで、議会へ提出されました。議会では、条例制定請求代表者に意見を述べる機会を付与し、本会議で意見陳述が行われました。

■**議案に付された市長の意見要旨**
現行の監査体制でも透明性、公正性は確保されている。新たな財政負担が生じ、費用対効果について慎重に検討が必要である。都道府県、政令指定都市および中核市以外の自治体では、外部監査制度の導入事例は限られており、現行の監査体制が十分に機能していることから、導入の必要性は低いと判断している。

■**総務文教委員会での審査**
市の担当課から、条例案の内容説明のほか、条例案に対する市長の意見についての説明がありました。

直接請求	署名簿の提出 (請求代表者から選挙管理委員会へ) ↓ 署名簿の審査により有権者の50分の1以上の署名を確認 (選挙管理委員会) ↓ 条例制定請求書の提出 (請求代表者から市長へ) ↓ 市長が意見を付けて 議案の提出 (市長から議会へ)		
	本会議	6/12 議案の上程 (市長提案理由説明) 6/16 請求代表者の意見陳述	
議会での審査	委員会	6/17 総務文教委員会で審査 討論、採決	
	本会議	6/20 委員会での審査報告 討論、採決	

委員から市に対する質疑を行った後、一部委員から、条例案の内容や施行期日について修正することで、より実効性のあるものにするとの考えから修正案が提出されました。

委員からは、「外部監査には、年間約800万円から1千200万円ほどの経費がかかる」とされ、費用対効果が懸念される。市の監査委員には、税理士が選任されており、議会からも監査委員が選任されており、信頼性、透明性、公平性は確保されている」との意見や「市民が地方自治に直接参加する制度を使って提出されたもので、画期的だ。外部監査人によって、自治体がいけるようなノウハウを得ることができ、導入による利益はかなりある」などの意見があり、採決の結果、修正案、原案(修正前の議案)ともに賛成少数で否決と決しました。

■本会議(6月20日)の経過

本会議では、総務文教委員長から、委員会での審査の経過と結果について報告が行われました。その後、一部議員から条例案に対する修正案が提出され、討論の後、最初に修正案について採決を行った結果、賛成少数で否決と決しました。次に改めて原案について採決を行った結果、賛成少数で否決と決しました。

請願

◎給食センターの新設統合計画の保留を求める請願

請願者

学校給食と子育てを考える市民の会 代表 今井多恵子

◎中野市学校給食センターの新設統合に関する予算執行停止についての請願

請願者

山田やよ江

◎2024年人事院勧告の寒冷地手当見直しに関わる請願

請願者

自治労長野県本部
執行委員長 西沢忠司

外1団体



■意見書

〈可決された意見書〉

(関係行政庁に提出)

寒冷地手当の支給地域等の適正化を求める意見書

地方公務員の給与改定は、国の職員、民間事業の従事者等の給与その他の事情を総合的に勘案した上で方針が決定されるところ、昨年8月、人事院は、冬季間の寒冷・積雪による暖房費等の補填を目的とする国家公務員の寒冷地手当について、支給地域を大幅に改定する旨を勧告し、その影響は地方自治体にも広がりつつある。

今回の改定には、長野県内の支給地域の縮小も含まれるが、その根拠とされる気象庁による「メッシュ年平均値2020」は、豪雪地帯対策特別措置法上の豪雪地帯である自治体の平均積雪量を0cmと推計するなど、地域の実態とは異なる点もあり、寒冷地の判定に適したデータであるとは言い難い。

地方自治体においては、職員の生活への影響、人事異動に係る管理上の支障等を懸念し、支給地域を縮小しないことなども検討されているが、寒冷地手当の支給総額が、改定後の国基準で支給した場合の総額を上回る場合、その超過分に相当する特別交付税が減額と

なるため、各自治体の独自の判断による支給地域の維持は難しい。

よって、中野市議会は、国に対し、寒冷地手当の支給地域等の適正化を図り、冬季間の公務員の負担を軽減するため、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要請するものである。

記

1 寒冷地の判定に際しては、気象庁によるメッシュ年平均値のみならず、様々なデータを参考とした上で、地域の実態に即して判断することとし、昨年8月の人事院勧告による支給地域の改定については見直しを行うこと。

2 地方自治体が支給地域を縮小せず、寒冷地手当の支給総額が改定後の国基準を上回った場合においても、特別交付税の減額措置は行わないこと。



6月定例会の賛否の分かれた議案

議案番号	件名	木村芳隆	渡辺菊男	土屋博	笠原豊	江口栄光	本田将伸	中村明文	中村秀人	塚田一夫	松樹純子	宮島包義	宇塚千晶	芦澤孝幸	小林忠一	阿部光則	松野繁男	原澤年秋	高野良之	芋川吉孝	高木尚史
議案第15号	中野市外部監査契約に基づく監査に関する条例案(修正案)	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	議	×	○	○	×	×	×	○
	中野市外部監査契約に基づく監査に関する条例案(原案)	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	議	×	○	○	×	×	×	○
請願第2号	給食センターの新設統合計画の保留を求める請願	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	議	×	○	○	×	×	×	○

※ ○は賛成 ×は反対 △は退席 欠は欠席
 ※ 議は議長 (可否同数以外は表決に加わりません)

6月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第1号	中野市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承認	議案第12号	財産(小中学校学習用端末等)の取得について	可決
議案第2号	中野市都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承認	議案第13号	財産(凍結防止剤散布車)の取得について	可決
議案第3号	中野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承認	議案第14号	市道路線の認定について	可決
議案第4号	中野市情報通信施設条例の一部を改正する条例案	可決	議案第15号	中野市外部監査契約に基づく監査に関する条例案	否決
議案第5号	中野市体育施設条例の一部を改正する条例案	可決	議案第16号	令和7年度中野市一般会計補正予算(第2号)	可決
議案第6号	中野市豊田温泉公園条例の一部を改正する条例案	可決	議案第17号	令和7年度中野市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第7号	令和7年度中野市一般会計補正予算(第1号)	可決	議案第18号	中野市多目的サッカー場人工芝張替工事請負契約の締結について	可決
議案第8号	令和7年度中野市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	請願第2号	給食センターの新設統合計画の保留を求める請願	不採択
議案第9号	中野市情報通信施設更改工事請負契約の締結について	可決	請願第3号	中野市学校給食センターの新設統合に関する予算執行停止についての請願	不採択
議案第10号	平成橋橋梁補修工事(債務負担行為)請負契約の締結について	可決	請願第4号	2024年人事院勧告の寒冷地手当見直しに関わる請願	採択
議案第11号	財産(小型水槽付消防ポンプ自動車)の取得について	可決	議第1号	中野市選挙管理委員及び補充員の選挙	選挙
			議第2号	寒冷地手当の支給地域等の適正化を求める意見書について	可決

※請願第3号については、同一趣旨の請願第2号が不採択となったことから、一事不再議の原則から、みなし不採択と決しました。

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。
 市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。
 聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。
 ご希望の方は、ながの電子申請サービスまたは事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。
 音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。

傍聴等に関するお問い合わせ先

電話 (22) 2 1 1 1 (内線316) F A X (22) 5 9 2 2

Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



手話通訳申請
ながの電子申請サービス

市議会を
傍聴しませんか

市内の小学生が
議場を見学しました

7月10日に高丘小学校の3年生が、17日と18日には中野小学校の3年生が市役所の見学のために来庁し、その際、市役所庁舎5階で議場を見学しました。

はじめて入る議場に興味津々の様子。職員から議員の選挙のことや市議会の仕組みなどについて説明を受け、熱心にメモをとっていました。その後、元気に手を挙げてさまざまな質問がありました。実際に議員や市長の席に座ってみるなど、市議会の雰囲気を感じていただきました。

表紙の写真

新しい園舎の使用が始まりました

民設民営により整備が進められていた市内の二つの幼保連携型認定こども園の新しい園舎が完成しました。平野さつきこども園では5月19日から、高丘さつきこども園では6月30日から、それぞれ新しい園舎の使用が始まり、子どもたちの元気な声が響きわたっています。

これからの中野市を担う子どもたちの笑顔あふれる場所となり、保護者の皆さんや地域の皆さんにとっても、信頼される施設となることが期待されています。

(写真提供 中野市広報)

令和7年9月中野市議会
定例会会期日程(予定)

○開会日	9月2日(火曜日)
○市政一般質問	9月9日(火曜日)
○委員会	9月10日(水曜日)
	9月11日(木曜日)
	9月12日(金曜日)
	9月16日(火曜日)
	9月17日(水曜日)
	9月18日(木曜日)
	9月19日(金曜日)
○閉会日	9月22日(月曜日)
○請願・陳情について	9月25日(木曜日)
9月定例会における請願書および陳情書の受付は、8月15日(金曜日)の午後5時までです。	
※他の行事等により日程を変更する場合があります。	

第6代後期
議会だより編集委員名簿

(順不同)

委員長
副委員長
委員

中村 明文
塚田 一夫
渡辺 菊男
土屋 栄光
江口 将伸
本田 純子
松樹 純子
小林 忠一
阿部 光則
高野 良之

ご意見・ご感想を
お聞かせください

議会だよりをお読みになっ
てのご感想やご意見などがあ
りましたら中野市議会まで
お願いします。



FAX(22)5922

Eメールgikai@city.nakano.nagano.jp

あとがき

今年は、梅雨明けがとても早く、暑い夏がやってきました。例年ならば中野市は7月中下旬が梅雨明けの時期です。

梅雨明後になつてくる猛暑は、私たちの健康にも影響しますが、農作物の成長とりわけコメが心配です。昨年も猛暑により稲作に高温障害が起こり、大きく作柄に影響が出ました。その影響が、いわゆる令和のコメ騒動で市場にコメが少なくなり、今年になつてコメの価格が高騰しました。スーパーの売り場にもコメがなくなり、また政府が備蓄米の放出や外国産米の輸入を増やすなどしたことで、価格がやや落ち着きつつあります。今年の猛暑はコメの作柄にどんな影響があるでしょうか。日本国民の主食であるコメの行く末が心配です。